

指導者が選手に与える影響に関する研究

田中 亮太郎 (競技スポーツ学科 スポーツ情報戦略コース)

指導教員 望月 聡

キーワード：指導者, サッカー, 選手, コミュニケーション

1. 緒言

現代のサッカーでは指導者の指導力が重要になっている。選手との関係性やコミュニケーション, 選手をみる能力など, 様々な部分で重要となっている。

また選手というのは試合に出られなかったりすると指導者に対して不満を持つてしまうことがある。

指導者に対して不満をもってしまうことによって選手のやる気がなくなり, 練習を真剣にやらなくなってしまうことがあると感じた。その中でも, 不満をもってしまう選手はベンチやベンチ外の選手だと考えた。

そこで本研究では指導者はどのように全選手を指導し, どのようなことをして選手とのコミュニケーションをしているのか, また, 指導者に不満をもっているのか, 指導者は自身のサッカーの経験にいい影響があったか, 指導者の指導がどのような影響があるのかを研究することを目的とする。

2. 研究方法

本研究の調査対象 高校サッカー部員, 高校サッカー指導者

アンケート調査 高校生 30 名 指導者 5 名
レギュラー 8 人 ベンチ 9 人 ベンチ外 11 人
(※ベンチ外は怪我人も含んでいる。) で調査をおこなった。指導者の対象は高校生。

3. 結果と考察

アンケートにより出た結果は, 選手は指導者に対して不満はあっても指導者からいい影響をもらっているという結果が出た。

指導者に対しても不満はレギュラーの選手にもあるという結果も出た。

しかし不満はあるけれど, 指導者はサッカーを指導するだけでなく社会の常識を教えられ, 人として成長させてくれることが分かった。

上記の結果から, サッカーだけを教えていてもだめだということが今回の結果でわかった。指導者というのは団体集団の一番トップに立っている人なのでお手本となることが大事になってくる。

4. 結論

選手にとって指導者がいなければ絶対に成長はできない, 不満を持つてしまっても選手自身は指導者を親のような存在と思い, 選手の成長の手助けとなっている。このことにより指導者は選手と話す機会を多くつくり少しでも話したりすることでその選手のパフォーマンスがあがる。

引用・参考文献

木村 元彦 オシムの言葉

桑野 豊 編著 現代スポーツ指導者論
その社会学的見方・考え方